

事業所名

療育園きらめき

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

31日

法人（事業所）理念	重度の障害があっても、病気やその特徴をしっかりと把握して小さな体調の変化にも気づき安全にせいかつできる。 保有する感覚器官を専門職員により最大限に伸ばし、楽しい日常生活が送れるようになる。				
支援方針	健康面に留意し体調などの異常の早期発見に努める。 生活リズムの生成を保護者と連携をとりながらサポートする。 療育の一環として理学療法士等によるリハビリテーションの施行。				
営業時間	9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	園内の感染予防に努め、消毒の徹底を行う。又、体調不良等があれば分離して対応する。 生活に必要なリハビリテーションを集団及び個別にて対応する。 顔色や表情、行動等からも異常を素早く察知できるよう努める。 食事、排泄、睡眠の状態を保護者より聴取し把握する。			
	運動・感覚	子供の利点や課題点を分析し、短時間でも繰り返し機能訓練を実施し心身機能の向上を図る。 必要な補助具等を適切に使用し身体的な機能維持・向上へ繋げる。			
	認知・行動	集団活動、個別活動、パラレルな活動において作業提供を行い精神機能の向上を図る。 繰り返しの支援を通して、認知・行動の成長を図る。			
	言語 コミュニケーション	集団活動で輪になり、集団でリズム運動や言葉遊びにて繰り返し行うことにより表出を促す。 子供たちに、「何をしたいか」「どっちがいいか」等選択肢を提示してコミュニケーションを図り自発的な表出へと繋げる。			
	人間関係 社会性	個人から小集団と活動が行えるよう段階的に調整を行い社会性の向上を図っていく。 順番を守る、時には我慢をして待つ等状況に合わせて提供し社会性を育む。			
家族支援	父母の子供に対しての問題を十分に理解し、助言をしたり傾聴する。	移行支援	課外活動や他施設との交流場面の中で、環境変化への適応を促進できるよう取り組んでいる。		
地域支援・地域連携	近隣の施設や事業所と連携し季節のイベントへ参加している。	職員の質の向上	研修を行うことや、職員間の情報共有を密に行うことで職員の質の向上や支援の質向上に努めている。		
主な行事等	・お誕生日会 ・夏の水遊び ・かき氷での感覚遊び ・ハロウィンイベント（お菓子つかみ） ・クリスマス会 ・ゆず湯 ・節分 ・綿あめづくり ・公園への散歩、遊具で遊ぶ 等				